



せせらぎ

令和4年12月23日
清瀬市立清瀬第四小学校

冬休み号

2学期を振り返って ～大人の役割って辛いです～

副校長 阿部 貴之

2学期は体育発表会、展覧会、校外学習など学校行事が多く、子供たちの頑張っている姿を多く見かけましたが、特に印象に残ったことを書きます。

展覧会が終わり、片付けを5年生が中心となって行ってくれました。私は職員室前の廊下あたりで子供たちの様子を見るように頼まれていたのですが、子供たちは先生の指示をしっかりと聞きながら、安全に気を付けて適切に動いてくれました。小学校では、5年生は6年生の陰になって、なかなか活躍する場が見えにくいですが、5年生はとても頼もしく見えました。来年度は最高学年となるにふさわしい動きでした。

4年生の理科見学と社会科見学の引率をしたときのことで、行く前の挨拶で、「行くのは4年生だけれど、他人からは四小として評価される。考えて行動してください。」と伝えました。バスの中での様子や見学時の態度など、しっかりと意識して行動してくれたので、大きな成長を感じました。

日常において、学校内では様々な子供どうしのトラブルがあります。そんな時、子供同士で解決できる場合と、そうでない場合とがあります。最近の子供たちの様子を見ると、コミュニケーションに起因するトラブルに発展するケースが散見されます。圧倒的に「言葉が足りない」のです。「死ね、ウザイ、バカ。」こんな言葉で相手に感情をぶつけている姿を目にします。もう少し言葉を紡いで自分の気持ちや思いを言葉にすることができたら、トラブルにはならなかったのではないか、トラブルになっても自分たちで解決できたのではないかと思うことがたくさんあります。

もう一つ、大人の対応です。子供たちの言葉の足りなさを、無意識のうちに大人がサポートしてしまっている実態です。子供に言わせるべきなのに大人が代弁してしまっている…そんな姿を多く目にします。これは先生にも保護者にも見られます。先日の研究授業の際、先生方にも同じ話をしました。子供たちの言語を豊かにするには、大人の意識を変えていく必要があるということです。時間がないから、つい手をかけてしまうといったところでしょうか。確かに大人が介入した方が時間的には短縮できるでしょう。しかしながら、同時に子供たちの成長の機会を奪っているとも言えます。大人の都合なのです。

また、自分の都合の悪いことを子供は話しません。正直に話させるためには正直に話す“気持ちよさや心地よさ”を味わわせてやらなければなりません。正直に話してよかったという経験。これを積み重ねなければなりません。そのためには大人として、時間をかけて子供の話の話をしっかりと聞くことが不可欠なのです。子供の言ったことを鵜呑みにせず、事実を確認すること、これも大人の責任の一つです。

「親」という漢字は、「木」の上に「立」って「見」と書きます。私も3人の小学生を育てている父親ですが、木の上からのこのこ下りて来て、子供たちの貴重な機会を奪ってしまうことがないように気を付けています。木の上でじっと見守る…。コロナ禍で経験できる機会が少ない今だからこそ、せわしなく生活している現代だからこそ、より意識したい内容だと一人の親として考えています。

今年はいつよりも長い冬休みとなります。おうちでお子様と接する時間も多と思います。大人としてお子様とどう接するか、今一度考えてみてはいかがでしょうか。

【学校保護者アンケートの記述から】

第2回学校保護者アンケートへのご回答、ありがとうございました。記述欄には、いくつものご意見を頂戴しました。励まされる記述も多々あり、心強く思いました。またご意見・ご要望もありました。その中で、お答えした方がいいものについて2つ説明いたします。

またその他の貴重なご意見も、今後の学校運営の参考にしてまいります。(校長より)

要望 遠足は学年ごとの遠足を望みます。縦割り班はとてもよいことだと思いますが、それは校内での活動でよいと思います。下の子のお世話が苦手な子もいるし、年上の子との関わりが苦手な子もいます。皆が楽しめるような、学年にあった場所に連れて行ってほしい。(要旨)

回答 学年ごとの遠足に実施については、今後の検討課題といたします。学校の教育活動は、常に意図的・計画的に行っています。遠足自体は、校外学習の一環です。校外学習には、生活科町探検、3年地域巡り、社会科見学、理科見学、移動教室・修学旅行等が主なものです。それぞれに「ねらい」(身に付けさせたい力)を設定し、実施しています。全校遠足も、小規模校の良さを生かした「ニコニコ班活動」(縦割り活動)を年間通して行い、お兄さん、お姉さん、妹、弟という「たての繋がり」で社会性を育むことが重要なねらいです。来年度は、年間の授業日数や授業時間数の兼ね合いや、「学年遠足」のねらいも含めて判断いたします。

意見 一人で30人以上の子供を見るのは、かなり大変。副担任を置くことを考えてほしい。

回答 学級によって、児童の状態はさまざまです。その状況に「学校体制」で対応しています。「教員のチーム力」を駆使し、工夫しているところです。現在は専科教員を中心に、空いた時間に、1年から4年までの教室に、「担任補助員」として入っています。主に給食や掃除等で細かなところをサポートし、児童の様々な「動き」に対応できるよう努力しています。今後も気になることがありましたら、随時、連携をとっていきたいと思います。

◆消えかけていませんか？

上履きの「名前」は「名札がわり」。

- ・3学期、名前をはっきりと書いていただき、持たせてください。



【冬休み期間のクロムブックの持ち帰りについて】

学校では、日頃からクロムブックの使い方を指導しておりますが、ときどき不適切な使い方の場面もありました。各ご家庭では、下記のことにご留意いただき、適切に使用できるよう「家庭教育」としてご指導ください。

なお、清瀬市として、フィルタリングは一括設定されています。

1 学校からのお願い

- クロムブックと充電器は、清瀬市より学習のために貸与されております。卒業まで大切に使用させていただきます。予備はないので、故障するとしばらく使えない期間になってしまいます。
- 特に落としてしまうと故障する可能性が高くなります。万が一、故障破損した場合は、1月6日(金)に学校へご連絡ください。学校TEL 493-4314
- 使用時間は、6時から21時です。1時間に1回休憩を入れ、目を休めるよう見てあげてください。
- 不適切なサイトにアクセスしている場合は、嚴重注意、あるいは使用中止期間を設けてください。

2 クロムブックの活用について

- 各学年に応じて、課題の例示を「学年だより」でお知らせしました。お子様とご確認ください。
- また、下記の内容も参考にして学習のためにご活用ください。

①「読書貯金シート」への記入・・・本のタイトル、読んだページ数、累計を記入します。

②タイピング練習サイト ※小学6年生の段階で、10分間で100文字以上の入力が目安です。

- 「マナビジョン」でタイピングの基礎「ホームポジション」をマスターすることができます。
- 「ホームポジション」でゆっくりと指使いを練習します。とにかく慣れることが大切です。
- 制限時間は本人と相談して決めてるといいでしょう。■目安は「正タイプ率」60%以上です。



【ベネッセマナビジョン】